

マレーシア・サラワク沖 セライ・ガス田の商業生産開始
～ SK-10 鉱区に続き、SK-8 鉱区も商業生産に移行 ～

平成 16 年 6 月 21 日
帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（社長：磯野 啓）が出資する日石サラワク石油開発株式会社(新日本石油開発株式会社・帝国石油株式会社・三菱商事株式会社・石油 公団による石油開発プロジェクト会社)は、同社が 37.5%の権益を保有するマレーシア・サラワク沖 SK-8 鉱区内のセライ・ガス田において、オペレーターであるロイヤル・ダッチ・シェル社と共に天然ガスの開発を行っていましたが、この度、同ガス田における生産設備が完成し、商業生産を開始することになりましたのでお知らせいたします。

日石サラワク石油開発株式会社は、1991 年 8 月にマレーシア・サラワク沖 SK-8 鉱区のプロジェクト会社として設立され、その後の探鉱活動の結果、1992 年から 1994 年にかけて複数のガス田を発見し、セライおよびジンタン・ガス田の商業生産に向け、2002 年に天然ガス生産設備の建設に着手 しておりました。

今回商業生産を開始するセライ・ガス田の生産量は、天然ガスが日量最大約 800 万立方メートル（原油換算：日量約 5 万バレル）、コンデンセートが日 量最大約 8 千バレルとなる予定であり、日石サラワク石油開発株式会社は、生産した天然ガスおよびコンデンセートを、ともに海底パイプライン経由でサラワク 州ビンツルのマレーシア LNG ティガ社に輸送します。また、ジンタン・ガス田につきましても、本年 7 月末には商業生産を開始する予定であり、これにより SK-8 鉱区において開発を行って 2 つのガス田が、ともに生産段階に移行することとなります。

またマレーシアにおいて当社は、日石マレーシア石油株式会社(新日本石油開発株式会社・帝国石油株式会社・三菱商事株式会社・石油公団による石油開 発プロジェクト会社)にも出資しており、今回商業生産を開始する SK-8 鉱区の近隣に位置する SK-10 鉱区内のヘラン・ガス田において、昨年 11 月から 天然ガスの商業生産を開始しており、今後は、セライおよびジンタン・ガス田を加えた 3 つのガス田合計で、天然ガスは日量最大 2,900 万立方メートル（原 油換算：日量約 17 万バレル）、コンデンセートは日量最大 4 万 2 千バレルの生産を見込んでいます。

以上

マレーシア・ガスプロジェクトの概要

	SK-8 鉱区		SK-10 鉱区	
権益保有者 (※オペレーター)	※シェル ……37.5% 日石サラワク…37.5% → チャリガリ ……25.0%	新日石開発 39.02% 石油公団 37.48% 帝国石油 15.00% 三菱商事 8.50%	※日石マレーシア 75.0% → チャリガリ ……25.0%	新日石開発 40.15% 石油公団 38.58% 帝国石油 15.00% 三菱商事 6.27%
開発対象ガス田	ジンタン・ガス田	セライ・ガス田	ヘラン・ガス田	
開発開始時期	2002年1月	2002年12月	2000年4月	
生産開始時期	2004年第3四半期	2004年6月	2003年11月	
Pj会社投資額	約92百万米ドル	約36百万米ドル	約360百万米ドル	
生産量(予定)	日量1,400万 m ³	日量800万 m ³	日量700万 m ³	
LNG換算	約320万トン/年	約200万トン/年	約160万トン/年	
原油換算	約8万バレル/日	約5万バレル/日	約4万バレル/日	
コンデンセート	約1万4千バレル/日	約8千バレル/日	約2万バレル/日	